

サイバーセキュリティ

環境認識

デジタル技術の進展により、お客さまに安心して金融サービスをご利用いただくとともに、金融インフラの安定稼働と持続的発展に貢献するため、サイバーセキュリティ対応が重要となっております。

当行では、内外の組織や専門家と協力して、当行および当行が提供するインターネットサービス利用者に関するコンピュータ・セキュリティ事案の検知、解決、被害局限化および発生を防止を図ることにより、当行および情報ネットワーク社会のセキュリティ向上に取り組んでおります。

取り組みについて

「情報セキュリティポリシー」に基づき、「システムリスク管理規程」ならびに「サイバーセキュリティ対応規程」を定め、サイバー攻撃に関するリスクを適切に管理し、サイバーセキュリティ対応をおこなうための態勢を整備しております。

当行では、日々高度化・巧妙化していくサイバー攻撃による脅威に対応するため、システム部内にサイバーセキュリティ対策室を設置し、サイバー攻撃の動向や脆弱性等の情報収集・把握、サイバー攻撃事案

への対応(検知、解決、被害局限化、対策等)を一元的に実行できるようにしております。

また、定期的にサイバー攻撃事案を想定した訓練を実施し、実効性の向上に努めております。

お客さまに提供するインターネット上のサービスについては、不正アクセスやサービス停止攻撃等への対策を講じるほか、インターネットバンキングの不正使用防止を図るための対策を実施しております。

【取組事例】

サイバーセキュリティ対策のさらなる強化を図る取り組みの一環として、京都府警察本部と連携し、金融機関等の職員を対象に「サイバー犯罪対策セミナー」を開催しました。

セミナーでは、京都府警察本部 生活安全部 サイバー犯罪対策課から講師を招き、キャッシュレス決済の広がり等により、一層サイバー空間が社会インフラ化している現状や、フィッシング詐欺の手口の巧妙化をはじめとするサイバー犯罪の最新の動向等について講演いただきました。

当行職員に加え、近畿財務局や日本銀行、京都府内3金融機関の職員もセミナーを受講するなど、サイバーセキュリティ対策の取り組みにおいては、関係機関と連携して積極的に取り組んでおります。



【セミナーの様子】